

二十歳の主張

平塚 有紗

本日は、成人を迎えた私達の門出に際し、このような盛大な式典を催して頂き、誠にありがとうございます。西条市長をはじめ、ご尽力くださった皆様に、成人一同、深く御礼申し上げます。この自然豊かな西条市に生まれ、両親や家族の深い愛情、先生方のご指導、そして地域の皆さまの温かい支えの中で、今日という新たな節目を迎えることができました。私たちを育ててくださったすべての方々に、心から感謝申し上げます。

二十歳を迎え、私たちは大人としての責任を自覚し、これからは自分の行動ひとつひとつに責任を持って生きていく覚悟です。これまで受けた支えを忘れず、次の世代へと繋げていけるような存在を目指し、未来に向かって努力していきたいと思います。

私は現在、キャビンアテンダントを目指して大学で学んでいます。この夢には、大きな理由があります。それは、地元・西条市が私に与えてくれた温かな体験や、美しい自然、そして人々の魅力を、もっと多くの方々に伝えたいという思いです。空の仕事を通じて世界中の文化や価値観に触れる中で培った視野を、地元に戻元すること。それが、私が恩返しを果たす一つの方法だと考えています。そして、この西条の地が、訪れる人々にとって新たな出会いや喜びを生む場所となるように、少しでも貢献できればと願っています。

これからの人生には、多くの挑戦が待っていることでしょう。ですが、これまで支えてくださった皆さまのご恩を胸に、感謝の心を忘れず、失敗を恐れず、一步一步前に進んでいきます。そしていつか、「この地で育ったことが私の誇りです」と胸を張って言える人間になりたいと思います。

最後に、これまで支えてくださったすべての方々に心から御礼申し上げます。この感謝を胸に、一歩ずつ未来に向かって進んでいくことを誓い、私の二十歳の主張とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。